

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホームすみれ

作成日：平成23年11月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	運営推進会議に関して、来館者が自由に閲覧できるような議事録の開示が実施されていない。	来館者が自由に閲覧できる運営推進会議の議事録の開示をする。	運営推進会議の議事録を、玄関付近に誰でも閲覧できるように設置する。	1ヶ月
2	4(3)	最近地元警察(中島駐在所)の異動があり、グループホームに関しての理解が得られていないと思われる。 また、運営推進会議への参加などを通じて双方向の話ができる場を設ける。	地元の中島駐在所に、グループホームやグループホームすみれについて理解してもらう。また、運営推進会議に参加してもらうことで、その理解を深めてもらうようにする。	駐在所に出向き、グループホームすみれについて、パンフレットを渡したり概要等を説明して理解を得るようにする。 運営推進会議に参加してもらい、地域の防犯や認知症対策について話し合う機会を設ける。	12ヶ月
3	10(6)	重要事項の中に、ホームの苦情相談窓口を表記しているが、公的機関の表示もあったほうが良い。	重要事項の中に、ホームの苦情相談窓口の表記と共に、公的機関の表示を行う。	重要事項説明書と、玄関付近に設置した重要事項説明の中に、苦情相談窓口の公的機関の表示をする。 ・山都町役場 健康福祉課高齢者支援係 ・国保連 介護保険苦情相談窓口	2ヶ月
4	27	記録が、ややもすると日中のある一瞬の状態に記録に終わったり、記録者の主観が文章に入っていたりすることも多い。記録の内容が的確とは言えない。	個々の認知症の状況やそれに対するケア、その後の状況などが分かるように記録をする。 その場であまり時間を掛けず、全職員が第三者にも十分把握できるような的確な内容の記録ができる。	・日中の記録は、少なくとも2項目以上記録する ・いつ誰がどこで何をどうしたのか、解りやすく記録する ・解りにくい記録については、どのような表現がよいのか、管理者やホーム長等からアドバイスを受ける。	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。